



OPEN DATA BRIDGE

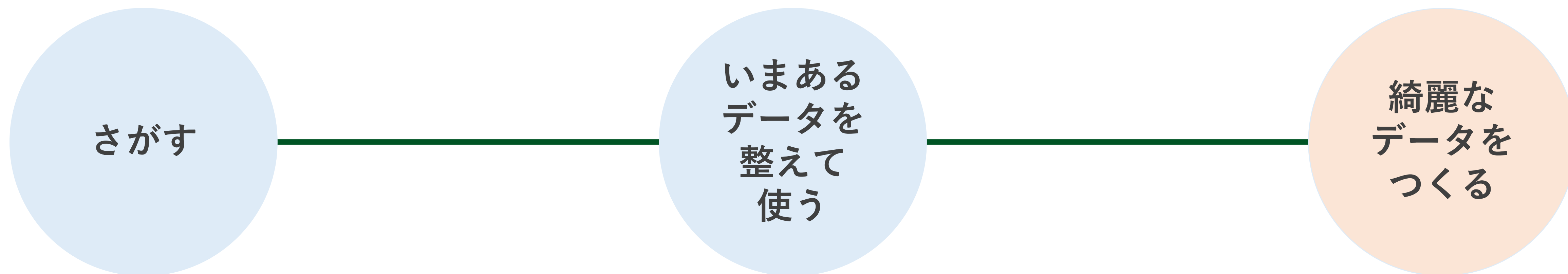
 dx-junkyard



Open Data Bridgeのねらい

■Open Data Bridgeは

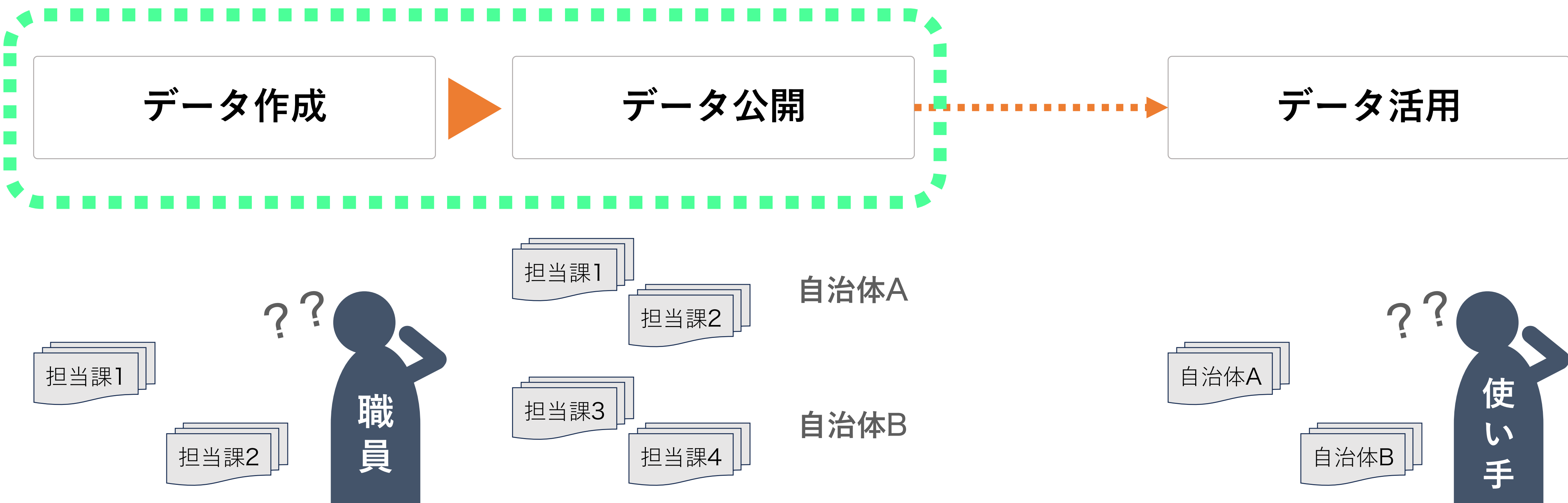
「綺麗なデータをつくる」ことにアプローチ





問題意識：綺麗なデータの作成は大変

- 自治体職員が様々な担当課をまとめて綺麗なデータを作るのは大変
- 使う側からしても、使いづらい状態のままデータが出てきている



解決策：対話式のデータ整形・補完



データ作成

自治体の内部で
サイロ化したデータ

【課題】

自治体や担当課ごとに
異なる項目、並び



OpenData Bridge UI : 目的に合わせた対話型データ整形

適切なデータ
構造に整形

足りない列を
データに追加

独自UIで対話しながら
データ整形データを標準化



データ公開

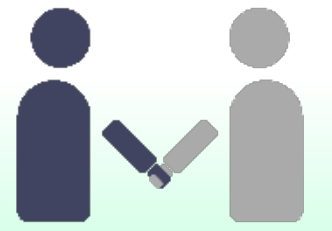
項目が揃って
標準化されたデータ

【結果】

綺麗なデータの公開



使える!!





デモ動画はこちら
<https://youtu.be/4bQnxkUSlBI>



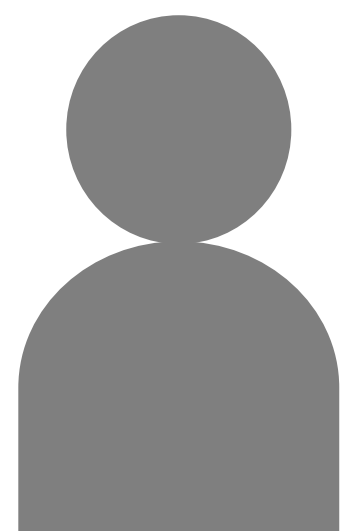
Open Data Bridgeのターゲット

■データを「作る」人たち = 自治体職員の方・市民団体の方

■データを「作る」側の課題はまだまだ多い…

→Open Data Bridgeで、データを「作る」作業を簡単に！

富山県射水市
宮脇氏



私たちはデータ提供者だがなかなか提供できていない。Open Data Bridgeで庁内のExcelやPDFを機械判読性の高いファイルに変換するというコンセプトに興味を持った。作成したプロンプトを異なるデータに横展開が可能であれば便利だと思う。研修などを通してデータを作れる人材を育成したいが、ハッカソンを通してCivic Techの活動も知っていきたい。

当発表をご覧の方へのメッセージ



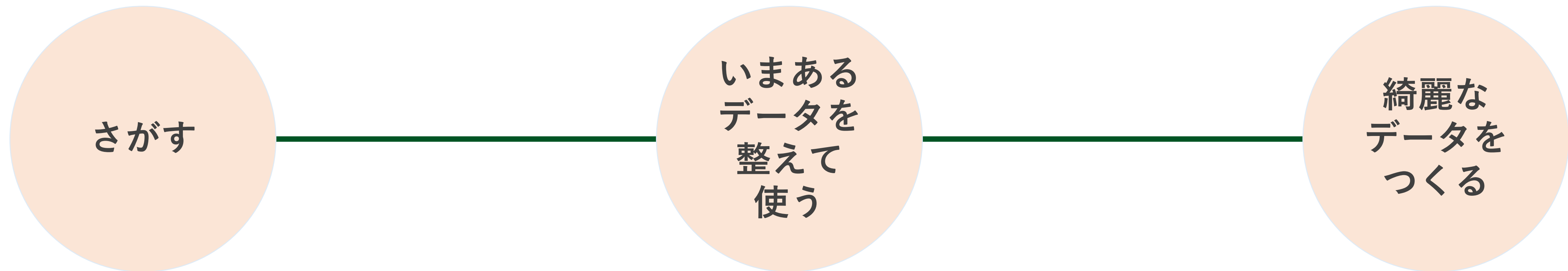
■自治体の皆様へ

Excel形式やPDF形式のままであっても、
自治体標準オープンデータセットの項目にあっていなくても、
とりあえずオープンデータとして公開していただきたい！

■オープンデータコミュニティの皆様へ

Open Data Bridgeを用いて一緒にデータ整形をしましょう！

フューチャーマーケット



ChatGPTカスタマイズ
GPTs
(Japan Open Data)

工夫を共有する仕組み
+
自動化の仕組み

Open Data
Bridge

dx-junkyardのビジョン



多様なスキルと経験を持つ仲間と共に、
互いに支援しながら共創に参加できる、
"実験場"

<https://www.dx-junkyard.com/>

dx-junkyard参加者の声



ChatGPTだけでなく、AWSとか
Geminiの使い方
などが学べたので良かった

色々な人に
出会えたのは
とても良かった

みなさんとの
出会いも
含めて
貴重な機会

Open Data Bridgeを
通して生成AIの実
装の知見が深
まったので、やって
よかった

ChatGPTのプロンプト
のコツを聞いて
仕事に役立った

発表やプレゼン
自体が良い経験に

dx-junkyardのチーム構成



■ dx-junkyardのコミュニティの特徴

共創

共創によるイノベーション

多様性

多様なバックグラウンドの融合

成長機会

実践的な学びと成長の機会

■ 自治体職員、ITエンジニア、研究者、コンサルタントが参加

「道を切り拓く、共創の力」

あなたが行き詰まっているその問題、少しだけ周りの人の力を借りるだけで解決するかもしれません。dx-junkyardでは、異なるバックグラウンドを持つ仲間と共に、社会課題に挑戦する機会があります。



▲ 詳しい説明

OpenDataの整形で困っている方、本日触れたスキルに興味のある方、社会課題の解決に興味がある方、dx-junkyardに参加してみませんか？